

多間生活文化圏部会の区域



垂水区の生活文化圏



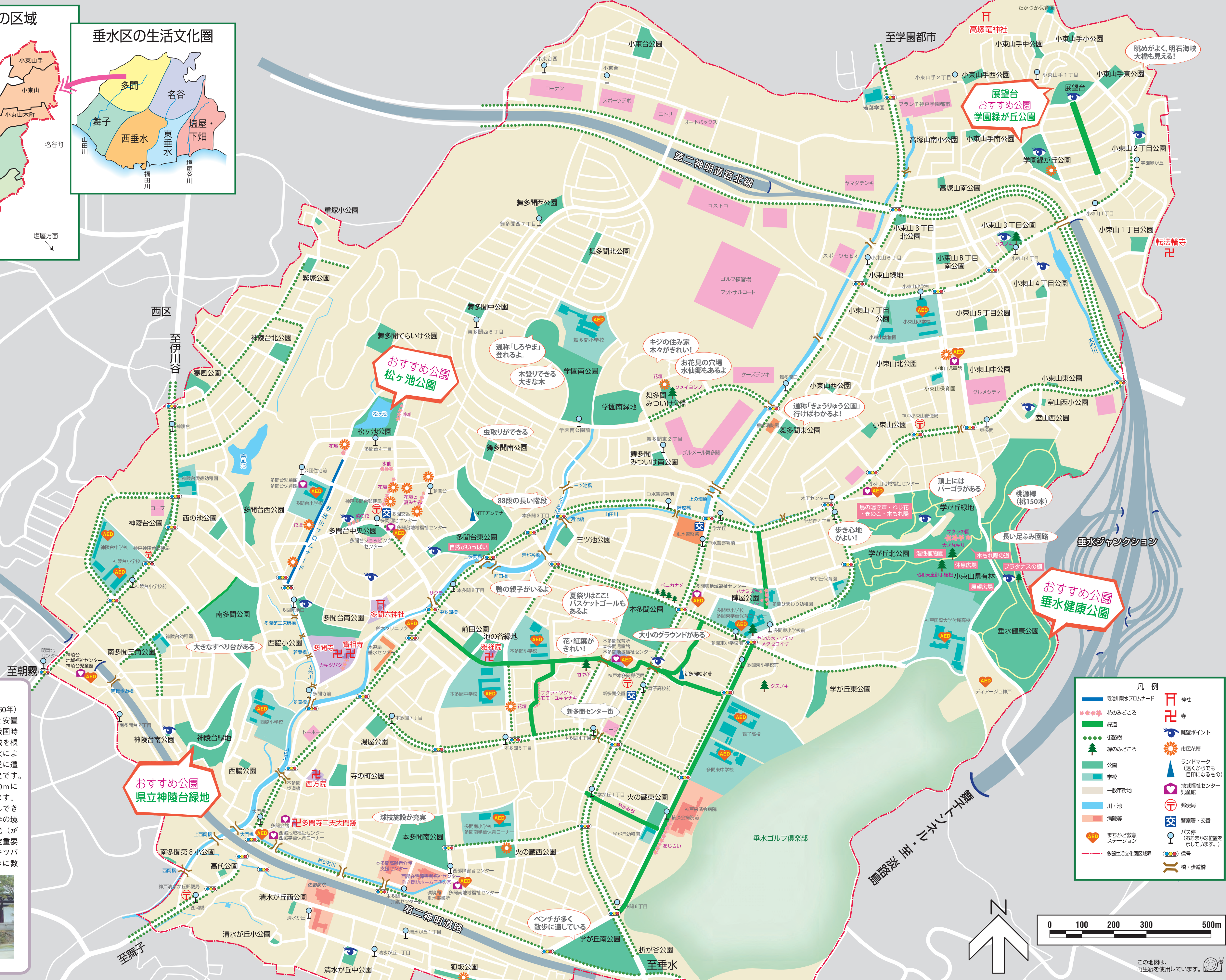
多間六神社

安永6年(1777年)の創建。祭神は西舞子1丁目に鎮座する舞子六神社と全く同じです。周囲に残る原始照葉樹林が、昔の風情を伝えています。神社には、弥生時代から信仰を集めていた氏神が祀られていると言われていいます。多間散策の山場としても、地域の人々に親しまれています。秋祭り(10月第2日・月曜日)には獅子舞、子供みこしの巡行、ケヤリも奉納されます。また、境内の南西の隅には、阪神淡路大震災で落下した鳥居の貴が記念碑として残されています。



多間寺

天台宗吉祥山多間寺と呼ばれ、貞観2年(860年)ごろ、清和天皇の命で慈覚大師が毘沙門天を安置し寺としたのが始めと伝えられています。戦国時代の終わりに、羽柴(豊臣)秀吉が三木城を根拠地とする毛利方の別所氏を攻める際、兵火によって焼かれました。このほか、たびたび火災に遭い、現在の本堂は正徳2年(1712年)の再建です。寺の栄えた頃には今の仁王門が本堂の南400mにあったことからその寺域の広さが想像できます。「旧多間村」はこのお寺を中心に歴史を刻んできたと言っても過言ではありません。このお寺の境内にある阿彌陀如来坐像、日光菩薩像、月光(がっこう)菩薩像は、平安時代の作で国の指定重要文化財となっています。境内の心字池のカキツバタの花は「新・こうべ花の名所50選」の一つに数えられています。1月5日には「追儺式(鬼追い)」、カキツバタ満開の頃5月第2日曜日には「観花会(かんかえ)」法要が催されます。



凡例	
	寺池川親水プロムナード
	花のまど
	緑道
	街路樹
	緑のみどころ
	公園
	学校
	一般市街地
	川・池
	病院等
	まちなか急急ステーション
	多間生活文化圏区域界
	神社
	寺
	眺望ポイント
	市民花壇
	ランドマーク(遠くからでも目印になるもの)
	地域福祉センター児童館
	郵便局
	警察署・交通
	バス停(おおまかな位置を示しています。)
	信号
	橋・歩道橋



この地図は、再生紙を使用しています。